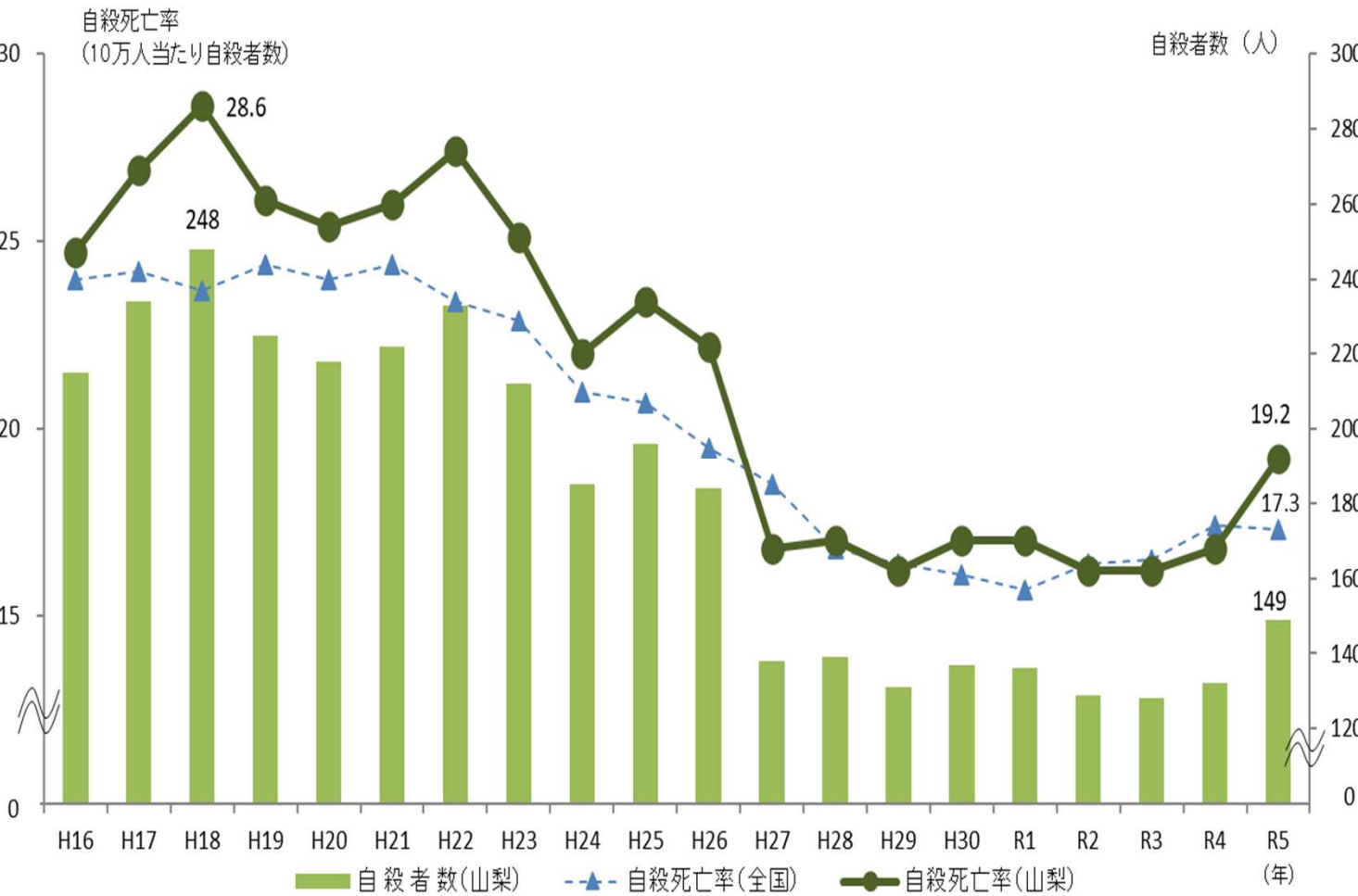


住所地ベースの自殺者数等

◇人口動態統計(概数)(厚生労働省) 住所地を基に死亡時点で計上

- ・ R5年の本県の自殺者数(概数)は、**149人**となり、昨年を上回る。
- ・ 自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)は、**19.2**となり前年から2.4ポイント上昇し、全国ワースト7位。



	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
自殺者数(山梨)	215	234	248	225	218	222	233	212	185	196
自殺死亡率(山梨)	24.7	26.9	28.6	26.1	25.4	26	27.4	25.1	22.0	23.4
自殺死亡率(全国)	24	24.2	23.7	24.4	24	24.4	23.4	22.9	21	20.7

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
自殺者数(山梨)	184	138	139	131	137	136	129	128	132	149
自殺死亡率(山梨)	22.2	16.8	17.0	16.2	17.0	17.0	16.2	16.2	16.8	19.2
自殺死亡率(全国)	19.5	18.5	16.8	16.4	16.1	15.7	16.4	16.5	17.4	17.3
順位	6位	39位	23位	31位	14位	15位	27位	27位	29位	7位

出典：人口動態統計(厚生労働省)
令和5年は概数の概況

【性・年齢階級別】

- ・ 男性は**40代から60代の年代で増加**し、総数も20人の増加。
- ・ 女性は総数で3名減少したものの、**高齢女性は自殺者が多い傾向**が続いている。

総数

年齢	山梨県						
	R1	R2	R3	R4	R5	R1~R5 平均	R5-R4
20歳未満	11	6	5	3	5	6.0	2
20~29歳	15	10	22	12	15	14.8	3
30~39歳	9	12	11	14	15	12.2	1
40~49歳	18	23	18	23	27	21.8	4
50~59歳	25	24	16	20	30	23.0	10
60~69歳	22	20	18	24	23	21.4	△1
70~79歳	23	23	23	20	17	21.2	△3
80歳以上	13	11	15	16	17	14.4	1
不詳	0	0	0	0	0	0.0	0
計	136	129	128	132	149	134.8	17

全国		
R4	R5	R5-R4
783	774	△9
2,397	2,402	5
2,465	2,502	37
3,574	3,499	△75
3,970	4,061	91
2,695	2,660	△35
2,909	2,776	△133
2,419	2,302	△117
40	40	0
21,252	21,016	△236

男

年齢	山梨県						
	R1	R2	R3	R4	R5	R1~R5 平均	R5-R4
20歳未満	8	1	4	2	4	3.8	2
20~29歳	9	7	15	9	10	10.0	1
30~39歳	8	8	9	11	11	9.4	0
40~49歳	15	14	11	13	21	14.8	8
50~59歳	22	18	11	14	23	17.6	9
60~69歳	18	13	10	14	20	15.0	6
70~79歳	15	17	16	13	9	14.0	△4
80歳以上	8	9	13	12	10	10.4	△2
不詳	0	0	0	0	0	0.0	0
計	103	87	89	88	108	95.0	20

全国		
R4	R5	R5-R4
447	406	△41
1,617	1,540	△77
1,720	1,830	110
2,557	2,588	31
2,776	2,856	80
1,844	1,842	△2
1,847	1,836	△11
1,518	1,447	△71
36	33	△3
14,362	14,378	16

女

年齢	山梨県						
	R1	R2	R3	R4	R5	R1~R5 平均	R5-R4
20歳未満	3	5	1	1	1	2.2	0
20~29歳	6	3	7	3	5	4.8	2
30~39歳	1	4	2	3	4	2.8	1
40~49歳	3	9	7	10	6	7.0	△4
50~59歳	3	6	5	6	7	5.4	1
60~69歳	4	7	8	10	3	6.4	△7
70~79歳	8	6	7	7	8	7.2	1
80歳以上	5	2	2	4	7	4.0	3
不詳	0	0	0	0	0	0.0	0
計	33	42	39	44	41	39.8	△3

全国		
R4	R5	R5-R4
336	368	32
780	862	82
745	672	△73
1,017	911	△106
1,194	1,205	11
851	818	△33
1,062	940	△122
901	855	△46
4	7	3
6,890	6,638	△252

出典：人口動態統計(厚生労働省)

山梨県自殺対策推進計画			活動指標の状況				今後必要な取り組み	
柱	施策	R 5 施策評価	達成	未達成	重点課題	考慮すべきポイント		
(1) 普及啓発活動の推進	①県民理解の増進	B	○県民に対する 自殺の現状の情報提供 年間5回 > 年間1回以上 (目標)	○自殺予防週間等の認知度 55% < 90% (目標)	○自殺は「社会的な取組で防ぐことができる」という共通認識の不足	✓より一層訴求力のある手法で 県民の行動変容を促す必要	◇メディア等を活用した効果的な広報活動の実施 ◇訴求力の高い団体と共同した啓発活動の実施	
	②調査研究の推進	B						
	③情報発信のあり方の周知	B						
(2) 人材の確保・育成	①自殺対策関係団体等の活動の支援	B	○市町村における ゲートキーパーの養成数 (累計) 12,353人>9,000人(目標)	○ゲートキーパーの認知度 25% < 34% (目標) ○県職員のゲートキーパー養成数 (累計) 562人 < 600人(目標)	○民生委員など一部の県民だけが ゲートキーパー研修を受講	✓様々な人材が自殺対策に関わる必要がある	◇様々な分野の関係者や支援者等が、自殺対策に関わる人材 (ゲートキーパー) となる取り組み ◇県職員をゲートキーパーとして養成	
	②人材の確保	B						
(3) 心の健康づくりの推進	①学校における心の健康づくり	A	○小中高におけるSOSの出し方に関する教育の実施率 100% = 100% (目標) ○働き方改革アドバイザーによる 企業訪問件数 2,041社 > 2,000社 (目標)	○公立学校で認知したいじめの解消率 小中 99.0% < 99.5% (目標) 高 98.5% < 98.8% (目標)	○全国的な児童生徒の自殺増加	✓発信されたSOSを的確に受け止める必要がある	◇適切に児童生徒の自殺のリスクアセスメントを行い、支援のコーディネートができる人材の養成	
	②職場における心の健康づくり	C						
	③地域における健康づくり	A						
(4) 相談支援の充実	①相談機能の強化	B	○こころの健康相談統一ダイヤルの認知度 67% = 67% (目標)		○40～60代男性の自殺増加 全国 対前年+109人 (+1.5%) 山梨 対前年+23人 (+56.1%) ○高齢女性(70歳以上)の自殺者数 全国 対前年△168人 (△8.6%) 山梨 対前年+ 4人 (+36.4%)	✓40～60代自殺の原因・動機で 最多は 健康問題 (うつ病) ✓がん診断後1年以内は 自殺のリスクが高い	◇勤労者のメンタルヘルス不調を早期発見するための、事業所等に対するアプローチの強化 ◇早期にうつ病に気づくための正しい知識の啓発 ◇がんと告知された方を各相談窓口につなぐための取り組み ◇がん患者をサポートする人材に対する研修の実施	
	②見守り活動の強化	B						
(5) 医療体制の充実	①医療提供体制の整備	B	○アルコール依存症治療拠点機関の設置 精神科救急医療体制	○薬物・ギャンブル依存症治療拠点機関の設置 ※R6～新たに活動指標に設定	○薬物によるオーバードーズの増加やギャンブル依存による経済的な悩み	✓専門性の高い医療提供が必要	◇薬物とギャンブル依存症治療拠点機関の設置	
	②精神科医師等の確保	B						
(6) ハイリスク地・ハイリスク者の対策強化	①自殺多発地域における自殺対策の推進	A	○健やか樹海ウォークへの県外からの参加者の誘致 (イメージアップ)		○県内で発見された自殺前住居地が「県外・不明」の自殺者数 R5 63人 (対前年+1人)	✓SNS等によってハイリスク地のマイナスイメージが増長 ✓保護した企図者の地元における支援	◇イメージアップを図るとともに、マイナスイメージを増長させるSNS等への対応 ◇夜間における水際対策 ◇県外からの自殺企図者を、地元の支援機関につなぐなど、関係機関との連携促進	
	②自殺発生回避のための体制の整備	B						
(7) 自殺未遂者等に対する支援			B	○自殺未遂者対応研修の参加機関数 48機関 ≒ 50機関 (目標)		○自殺未遂歴が有る自殺者数 R3 26人 (自殺者の18.6%) R4 33人 (" 23.4%) R5 27人 (" 17.0%)	✓自殺未遂者は 再度自殺を企図するため ハイリスク	◇自殺未遂者を再企図させないための取り組み ◇二次救急医療機関に対する対応マニュアルの活用促進
(8) 自殺者の親族等に対する支援			B	○自死遺族相談に関わる職員への研修の参加機関数 90機関 ≒ 100機関 (目標)				

自殺者の減少